利用条件

利用者は、別紙A記載のリソース（理研BRC固有番号pdi00330-385）の利用に当たって次の条件を遵守する。

1. 利用者は、本ベクターを基礎研究にのみ利用する。
2. 利用者は、本ベクターを、利用者が責任者である研究グループの中のみで

使用する。利用者の研究グループに含まれない者（以下「第三者」）に本

ベクター（改変したものを含む）を分与することはできない。ただし、LR

反応後のプラスミドについては、そのプラスミドが論文発表後のものであり、かつその論文について次の３、４が満たされている場合に限り、第三

者に分与することができる。

1. 利用者は、本ベクターを利用した研究結果等を論文発表する際は、下記の

論文を引用する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Sultana M. et al. Gateway binary vectors with organelle-targeted fluorescent proteins for highly sensitive reporter assay in gene expression analysis of plants. Journal of Biotechnology 297:19-27 (2019)

1. 利用者は、本ベクターを利用した研究結果等を論文発表する際は、 Acknowledgments等に以下の内容の文章を記載する。

　　 「We thank Dr. Tsuyoshi Nakagawa (Shimane University) for providing Gateway binary vectors with organelle-targeted fluorescent proteins.」

本書は 年 月 日付で理研BRCと　　　　　　　　　　　　　　　　　　　の間に締結された　個別遺伝子材料　に関する同意書４項に記載の別紙Bとして当該同意書に綴り込まれるものとする。